

2 0 2 4 年 度

事 業 報 告 書

2 0 2 4 年 4 月 1 日 から 2 0 2 5 年 3 月 3 1 日 まで

一般社団法人 日本ガス協会

## 目次

- I. 環境認識 (p. 3)
- II. 重点項目 (p. 4)
- III. 活動報告 (p. 5～11)
  - 1. 事業領域における活動報告
  - 2. 会員サービスに関する活動報告
  - 3. 組織基盤に関わる活動報告
- IV. 事業報告の附属明細書 (p. 11)

## I. 環境認識

### (1) エネルギー・環境政策議論の進展

- 第7次エネルギー基本計画の策定、地球温暖化対策計画の改定、NDCの見直し等、カーボンニュートラル社会実現に向けた政策議論の進展
- カーボンリサイクル燃料に係る国際的なCO<sub>2</sub>コントロール整備に向けた動きの加速
- 需要側エネルギー政策としての省エネ法等における家庭用も含めたエネルギーの非化石化に向けた議論の進展

### (2) 都市ガス業界内の動向

- 海外における e-methane 製造に関する事業性の詳細検討
- 国内における e-methane 実証事業での実供給の開始
- 地域課題解決に向けた都市ガス事業者による新規事業検討の動きの継続

### (3) 社会の動向

- 国際情勢の変化要素の拡大(イスラエル-パレスチナ問題、ロシア-ウクライナ情勢、米国大統領選挙等)
- 南海トラフ地震の被害想定見直し等による災害対策強化への要請
- 円安等によるエネルギー価格高騰に伴う省エネ意識の拡大

## Ⅱ. 重点項目

### (1) カーボンニュートラルチャレンジ 2050 アクションプラン実現に向けた取り組み強化

- e-methane の社会実装に向けて国と協議を進め、託送料金制度を活用した短期制度が措置された
- カーボンリサイクル燃料の環境価値確立に向け、CCR (Carbon Capture & Reuse) 研究会を通じた他業界・団体との連携強化を進めた
- エネルギー消費機器の非化石化に向けた省エネ政策に関し、関係業界団体等と連携し国と議論を行った
- コージェネを中心としたガスシステムがレジリエンス・再エネ調整力に資することが国の審議会等の議論で取り上げられるなど、理解促進に努めた
- ガスシステム導入に活用可能な補助事業の拡充に向けた国への働きかけを行うとともに、会員事業者に対する説明会・勉強会などの活用推進に向けた支援を行った
- 会員事業者のメタネーション実証事業に関し、e-methane の環境価値算定や提供方法、実証試験法案、他事業者への展開に向けた検討などについてサポートを実施した

### (2) 都市ガスの安全・安定供給に向けた不断の取り組み

- ガス安全高度化計画 2030 の着実な実行に向け、自社工事・他工事再発防止に向けた取り組みを一層強化するとともに、経年管対策の進捗を踏まえた更なる保安対策の検討を行った
- 巨大地震における津波等を想定し、製造・供給一体の緊急・復旧対応シナリオを作成、業界内の LNG 気化器融通における課題整理、対応の検討を行った
- スマート保安の導入促進に向けた国の制度の活用促進のため、会員事業者へ情報提供を行った
- 南海トラフ巨大地震対策検討 WG の被害想定に基づく都市ガス被害・復旧見通しの策定・報告、能登半島地震の教訓である地形等特性に応じた防災対策の検討に取り組んだ

### (3) 地域CN化・地域活性化への取り組み支援の強化

- 地方ガス事業者を対象に CN の理解度・取組度調査を実施し、現状を踏まえた施策を検討した
- 勉強会や会議体などに加え、ガス ZEB ポータルの拡充などを通じ、地域におけるガス ZEB 普及促進への取り組みを展開した
- コージェネレーション・地域サステナブルエネルギー協議会や同シンポジウム、脱炭素先行地域勉強会など、会員事業者と自治体との連携に資する取り組みを推進した
- 地域活性化フォーラム等を通じて、事業者による地域活性化への取組事例の水平展開等を図った

### (4) 大阪・関西万博パビリオン出展に向けた万全の準備

- ガスパビリオンの着実な建築工事の実施、運営・展示演出の検討を進めた
- プレスリリースや SNS の活用に加え、会員事業者、一般層向けの情報提供やイベントなど通じて機運醸成を図った

### (5) 上記に係る積極的な情報発信・対外活動の展開

- ガス事業の持続的発展に向け、政策・制度議論へ積極的に関与した
- CN 社会実現に資するガス業界の取り組みを、メディア向け勉強会や一般ビジネス誌とタイアップした小冊子作成を通じて発信した

### (6) 組織基盤の整備・強化

- 法令、環境変化等を踏まえた諸機関の適切な運営を行った
- 会員事業者への迅速な情報発信を目的に、新たな会員向けホームページを導入した

### Ⅲ. 活動報告

#### 1. 事業領域における活動報告

##### 企画領域

##### (1) e-methane の社会実装に向けた国内外制度対応

- ガス事業制度検討 WG において、託送料金制度を活用した e-methane 導入へ向けた短期制度が措置された
- 水素社会推進法において e-methane が位置づけられるとともに、e-methane の CI 値が適切な水準で設定され、GX 経済移行債の対象とされた
- SHK 制度検討会において、e-methane とバイオガスの利用時に基礎排出ゼロとなる方向性が示された
- クリーンガス証書の設備認定実績を積み上げるとともに、実案件を通じた制度改善を実施した
- 日米首脳会談、G7 や APEC の成果文書に、e-methane の記載とともに CO2 の二重計上回避を含むルール検討推進が明記された
- GHG プロトコルや IPCC のルール改定を受けて、関係者にガス業界の主張を伝え理解を得た
- 国際会議「日韓台ラウンドテーブル」を主催し、日本の都市ガス業界の CN に向けた取り組みの情報提供を行うことで、e-methane の国際認知度向上に寄与した
- 国際会議（IEA、COP29 等）において ISO や証書の取り組みを発信した

##### (2) 温暖化対策・エネルギー政策への対応

- 基本政策分科会等を通して国に対してガス業界の取り組みを伝え、第 7 次エネルギー基本計画において、LNG が重要なエネルギーであることが位置付けられた
- カーボンプライシング制度について、GX-ETS や関税・石々税等の取り扱いについて国と協議を行った
- ライフサイクル CO2、メタンリーク等、ガス利用時の評価が適切に行われるよう対応を検討した

##### (3) ガス事業制度議論等への対応

- 原料供給途絶時の対応ガイドラインに基づいて、一部シナリオを改訂して業界内の LNG 融通検討のシミュレーション訓練を事業者と連携して行った
- 標準熱量が低下した場合における製造・供給・消費段階での各課題の検討を進めた
- 電力システム改革の検証の議論動向をフォローするとともに、各種 WG でのガスシステム改革検証へ向けた議論を開始した
- 会員事業者の適切かつ持続的なガス事業運営に向けた支援および課題整理を推進した

##### 技術領域

##### (1) ガス安全高度化計画 2030 の着実な遂行

- 供給段階における 2024 年の事故事例を踏まえ、自社工事における活管工事時の酸欠事故防止の徹底や、事業者ごとの他工事損傷防止に資する取り組みや好事例を会員事業者へ展開した
- 経年管対策（本支管、供内管）を着実に進めるとともに、導入当初に評価した供用期間を迎える更生修理工法について、実証に基づく試用期間の延伸評価方法を策定した
- 警報器の普及拡大を図るために、啓発チラシ等をガス事業者に提供したほか、「ガスと暮らしの安心」運動を通じ、家庭用需要家に対する非安全型機器・経年設備の取替促進、機器使用時の換気励行等を実施した
- 製造・供給・消費段階の実行計画に対する、最新の取り組み状況をガス安全小委員会において報告した

## (2) レジリエンスの更なる強化

- ・南海トラフ巨大地震対策検討WGの被害想定に基づく、都市ガス被害・復旧見通しを策定・報告した
- ・能登半島地震の教訓を踏まえ、地形等特性に応じた対策の検討に取り組んだ
- ・近年頻発・激甚化する台風・豪雨への対応力強化を目的に、「台風・豪雨対策ガイドライン」を作成した
- ・経済安全保障推進法に基づく届出対象を国と協議のうえ明確化・限定化するとともに、事業者からの相談への対応・支援を実施した

## (3) スマート保安の推進

- ・認定高度保安実施事業者制度における、漏えい点検頻度緩和等のインセンティブ設計方針の検討を進めた
- ・スマートメーター普及に向け、事業者との意見交換会を保安推進プランナー会議にて実施した
- ・スマートメーターの検定有効期間延長に関する技術課題の検証を進め、対応方針についてメーター業界と確認したうえで、国との協議を行った
- ・JGA 技術賞、インフラメンテナンス大賞等の新技術開発・導入を促進する活動について、事業者への周知共有を継続した

## (4) カーボンニュートラルに向けた対応

- ・e-methane 導入に伴う熱量の低下、組成の変化、流量の増加が生じた場合の製造から供給設備全体への影響評価を行った

## 普及領域

### (1) カーボンニュートラル社会実現に資するガスシステムの位置付け確保

- ・需要側の非化石化に向けた省エネ政策議論において、機器メーカーなどの関係業界と連携し、制度設計の対応を図った
- ・大規模燃料転換に資する補助事業など、ガスシステムの普及拡大に資する各種補助金について、国へ働きかけを行った。
- ・ガス機器・ガスシステムの適正な評価・理解促進に向け、関係省庁向けのスマートエネルギー・ガス ZEB 見学会の実施や有識者検討会への参加を行った
- ・水素製造装置の常用圧高圧化に向け、高圧ガス保安協会にて策定した業界自主基準の確認、事業者ニーズの確認等を実施した

### (2) 都市ガスの普及拡大に向けた会員事業者の支援

- ・コージェネレーション・地域サステナブルエネルギー協議会への名称変更を行い、官民連携プラットフォーム機能の充実化を図った
- ・ガス ZEB ポータルの改修・事例の追加やガス ZEB ロゴ作成に加え、ガス事業者 ZEB プランナー会議、勉強会等を通じ、ガス ZEB 訴求機会を拡大した
- ・エコジョーズ（省エネ高効率給湯器）について、賃貸住宅経営者や、賃貸住宅管理会社へのエコジョーズ導入の訴求や働きかけを行った

### (3) 関係業界・学会との連携

- ・「暮らしの未来シンポジウム 2024」、「Gas Innova」、「NGV フォーラム」等の開催を通じ、天然ガスの普及拡大やガス事業の高度化実現に資する技術分野を中心とする情報発信を行った

- CCR (Carbon Capture & Reuse) 研究会事務局として、メタネーション社会実装に向け関連企業との連携を強化した
- ウィズガス CLUB への CN 関連施設見学会の実施等を通じ、関係業界との連携を強化した
- 大学と共同研究において水素コストの最適化シミュレーションを実施する等、e-methane のコスト低減に資する研究を推進した
- 高効率給湯器の普及推進に向け、賃貸住宅に向けた PR 活用の実施、および課題整理等を実施した

## 地方領域

### (1) 地方ガス事業の持続的発展に向けた活動の強化

- J クレジットを活用したガス供給の勉強会、バイオガス等再エネのポテンシャル調査等、地域で取り組み可能な CN 都市ガスの具体的な検討に向けた支援を行った
- 会員事業者への積極的な訪問活動を通じ、地方ガス事業者のガス事業に対する状況やスタンスをヒアリングするとともに、意見交換を行った。また、そこでの声を踏まえ、今後の持続可能性を共通課題とする P13A 事業者が一堂に集う情報交換会を実施した
- 会員事業者の経営層・次世代経営層をメインターゲットとする「地域活性化フォーラム」を開催し、地域・自治体と連携した新事業展開や自治体アプローチ等の先行事例の情報提供を行った
- 自治体へのアプローチに備え、地域のニーズを把握する手法の一つであるスマートシティ・インスティテュートによる勉強会を実施した

### (2) 地域単位での会員サービス活動充実化への支援

- 部会会議体や都県ガス協会において、業界に影響する政策動向についてのタイムリーな情報提供・意見収集を行うとともに、個別事案の問い合わせ等にも適確に対応することで、地方部会を通じた地域単位での会員サービス活動の充実化を支援した

## 広報領域

### (1) e-methane 社会実装への機運醸成

- エネルギー政策動向や e-methane に関するメディア向け勉強会を実施し、都市ガス CN 化に係る理解度向上を図った
- 一般ビジネス誌とタイアップしたガス業界の取り組みを紹介する小冊子の作成等、需要家への訴求を行うことで、機運醸成を図った

### (2) 大阪・関西万博ガスパビリオン出展に向けた万全の準備

- 現地事務局と密に情報交換・連携し、効果的にガスパビリオンの建築進捗管理を行った
- 時機をとらえたプレスリリース、SNS の活用等に加え、会員事業者、一般層向けのイベントを通じて機運醸成を図った
- 会員事業者が子ども向けに実施する出張授業において、万博やガスパビリオンを紹介し、万博開催機運を高めていく活動として「ミライ教室キャラバン」を実施した

### (3) 災害時の正確な情報発信に向けた取り組み

- 会員事業者向けに SNS 解説・運用の手引きや事業者の取り組み事例の紹介動画を制作し、災害時の SNS 活用による情報発信力強化を図った
- 地震時広報の位置づけを明確にするとともに、「地震時広報ガイドブック」を改訂し、周知を図った

## 2. 会員サービス活動に関わる活動報告

### (1) 北海道部会

#### ① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・ガス事業に係る専門知識の習得、階層別職員の能力向上、事業環境の変化及び経営基盤の強化に資する各種スキルアップ研修、AI等デジタル技術活用の有効性等を訴求する情報提供を実施した
- ・保安従事者のスキル習得に向けた緊急保安研修や自主保安活動に資する保安人材育成・指導力向上に係る担当者会議を開催した

#### ② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・CNを促進する情報提供、正会員事業者の地域CN化・低炭素に向けた取り組みの支援、ガスシステムを活用したZEB・ZEHの普及拡大に向けた情報発信を行った
- ・LNG供給途絶等の有事に備えた関連情報の水平展開、ガス安全高度化計画2030を着実に推進するための保安向上等の取り組み支援、地震・津波災害に備えた被害想定算定等による災害対応力強化等を図った
- ・会員事業者の地域活性化等に係る取り組み支援、事例等の水平展開を行った

### (2) 東北部会

#### ① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・経営基盤を支える人材の企画力・業務対応力向上を図るための業務研修の実施や、行政情報・業界動向・業務活動に関する先進的な取り組み事例等を共有する業務セミナーを開催した
- ・保安人材育成、保安水準の維持・向上を図るための保安技術に関する知識を習得する技術力向上研修を実施するとともに、安定供給の確保に資する供給設備に関する座学・実技講習会を開催した

#### ② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・技術委員会、保安推進グループ会議、技術分科会等を通じた保安・技術関連情報の提供・事故事例研究等の実施や技術普及セミナー開催等による新技術の紹介・普及への取り組みを行った
- ・非常事態時の応援受入演習をはじめ、被害状況報告システム訓練等を通じたJGA-DRESSおよびG-Reactの適切な運用に向けた取り組みを行った
- ・都市ガス利用の普及拡大を図るため、自治体や各県都市ガス協会等とも連携した都市ガスの高度利用に向けたコージェネレーション・地域サステナブルエネルギー協議会の運営を行った
- ・各県都市ガス協会等との連携強化や各種会議等における会員と行政機関との情報交流促進、各県の保安・技術関係会議における情報提供・意見交換を実施した
- ・地域CN化に向けた事業者の取り組みを推進するため、自治体等ステークホルダーとの連携深化につながる地域エネルギー事業の課題に関する意見交換や事例情報提供を行った
- ・IT化に対応した会員に対する部会活動の概要を周知する電子媒体の会報の発行や、会員間および関係機関との情報交換・連絡ツールとなる部会会員名簿の作成・配付等、各種情報の迅速な提供を行った

### (3) 関東中央部会

#### ① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・保安人材育成に向け、技術普及支援講習会等における会員ニーズに則した内容の見直しを実施した
- ・会員事業者ニーズに則した講習会・セミナー等の実施を通じ、事業基盤強化に向けた人材育成の取り組みを行った

## ②地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・部会独自の保安向上に向け、都県ガス協会と連携した災害時連携計画の運用整備を図った
- ・地方ガス事業者の持続的発展に向け、デジタル活用・SDGs 推進等の事例共有や課題解決支援等を実施した
- ・関東中央部会の特性を踏まえた、地域 CN 化に関する情報提供の実施、事業者の経営高度化支援や取り組み好事例の情報発信、ZEB・ZEH の促進に係る取り組みを実施した
- ・幹事会議等各種会議体や講習会・セミナー等での監督官庁や自治体との連携強化を図るとともに、都県ガス協会主催の各種会議での JGA 活動の水平展開を実施した
- ・部会会員に対する迅速・的確な情報提供、会員事業者の経営形態等を踏まえた部会運営を実施した

## (4) 東海北陸部会

### ①ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援機能

- ・保安人材の育成のため、ガス主任技術者試験受験準備研修会や会員事業者の施設等を活用した開放コース（製造関係、供給関係、消費機器関係）、技術普及セミナーを実施した
- ・事業基盤強化に向け、エネルギーシステム補助金やガス事業制度議論等に関する説明会、ガス普及促進のためのスキルアップ研修や業務セミナーを実施した

### ②地方部会内共助に向けた企画・実施機能

- ・安定供給・安全確保に向け、応援受入演習報告会、情報連絡訓練（台風・豪雨時、サイバー攻撃発生時等）や防災訓練（部会事業者合同訓練、地震・防災関連システム操作訓練等）を実施した
- ・地域 CN 化に貢献する天然ガス普及促進に向け、コージェネレーション・地域サステナブルエネルギー協議会を通じた関係自治体の理解促進を図った
- ・大規模災害発生時に備え、円滑な被害情報の収集、応援・受入態勢の調整に向けた事業者連携訓練や、監督官庁など関係機関との情報連絡訓練を実施した

## (5) 近畿部会

### ①ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・レジリエンスの強化と保安人材育成支援に向け、地震時被害状況報告訓練、台風豪雨情報連絡訓練、サイバーセキュリティ情報連絡訓練、復旧支援システム操作訓練等の災害対策訓練や、保安・防災に関する知見を広めるための見学研修会を実施した
- ・会員事業者の事業推進に資する知識と意識の向上に向け、事業者幹部を対象とした経営セミナーや外部講師の講演による普及セミナー、また社会・業界動向に応じたタイムリーな講演会・見学会等を開催した
- ・近畿ガス事業協同組合との連携による研修の充実化や技術普及セミナー、また保安・ガス普及に関する説明会等を開催した

### ②地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・災害時連携計画に基づく地震時応援受入の演習支援と報告会開催による事業者間情報共有・意見交換を実施するとともに、事業者保安巡回の実施および保安ヒアリングを通じた事業者間連携の推進支援を行った
- ・ガス普及に関する先行事例紹介等による情報共有および活動支援、普及事例研究会等の開催により、事業者共助によるガス普及の促進を図った
- ・地域 CN 化の取組事例や技術開発情報等の協議会・委員会等での共有推進、会員事業者への地域活性化に関する情報提供や意見交換の実施、地方自治体・公共団体等との連携推進協議会・委員会等の機会を通じたガス業界の取り組み発信を行った

## (6) 中国・四国部会

### ①ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・ 保安人材の育成・スキルの向上に向けて事業者主催保安関連研修や製造関連情報交換会議等を実施した
- ・ 業務研修、業務セミナーの実施による天然ガス普及拡大支援、スキルアップ支援を行った
- ・ 技術普及セミナー、技術開発普及会議等の実施による新技術・新工法の普及促進を行った

### ②地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・ 安定供給、保安・レジリエンスの強化に向け、保安推進プランナー会議、技術委員会、保安推進グループ会議の開催による「ガス安全高度化計画 2030」の推進と部会事業者の保安レベルの向上を図るとともに、災害対策検討ワーキング、応援受入演習報告会の実施による部会事業者間での災害・事故への対応検討と災害対策の情報共有、連携強化を図った
- ・ 地域 CN 化・地域活性化に向けて、全国的・共通的な課題に対する具体策の提示、多様な課題対応に向けた人材育成の支援、各社ロードマップ策定・遂行の支援、部会の各委員会・幹事会議等での情報の共有化を図った

## (7) 九州部会

### ①ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ・ ガス普及拡大、経営基盤強化に資する人材研修を実施した
- ・ 業務推進大会、九州コラボセミナー等による事例・情報の共有と発信を図った
- ・ 保安人材の育成及び保安水準の向上に向け、被害状況報告訓練、各種情報連絡訓練実施による人材育成支援、会員事業者が主催する技術研修会・講習会等への参加、内管工事資格制度講習トレーナー教育や技術講習会を実施した

### ②地方部会内共助に向けた企画・実施

- ・ 安定供給・レジリエンス強化に向け、災害対応力強化に資する要綱・要領・復旧対策の浸透、サイバーセキュリティ情報の共有化、南海トラフ地震などを想定した災害対応訓練、応援受入訓練等による緊急対応体制の強化、地震時広報活動などに関する情報提供、ガス安全高度化計画 2030 推進に資する事故情報の提供、経年管対策の支援を行った
- ・ 地域 CN 化に向け、九州・沖縄地区コージョエネレーション・地域サステナブルエネルギー協議会などによる会員事業者と自治体との連携強化、勉強会の開催や情報提供を実施した
- ・ 会員事業者の持続的発展に向け、事業者訪問を通じた情報収集や経営基盤の強化に資する情報提供、解決策の検討を実施した

## 3. 経営基盤に関わる活動報告

### (1) 機関運営と会員制度運用

- ・ 役員改選期となる総会の着実な実施等、必要な機関運営を適切に実施した
- ・ 事務局内で連携し、事業計画における課題整理等を適切に実施した
- ・ 会員事業者の経営形態変化に伴う入退会手続きについて、滞りなく運用を行った

### (2) 事務局人材施策と業務基盤

- ・ 事務局組織課題や環境変化を踏まえた採用活動、人材育成等を実施した
- ・ 会員に対して迅速に情報発信を行えるよう新たな仕組みを導入した会員向けホームページを開設した
- ・ 会員事業者向け、職員向けに最新情報を盛り込んだ独占禁止法の研修を実施した

### (3) 基幹業務

- 公益法人会計に対応した会計システムの導入検討、新たな請求書発行システムの導入等、経理・会計業務の省力化・効率化に向けた対応を実施した
- 国から受託する生産動態統計調査事業の適切な実施、また統計調査の事務局内活用の促進につながるよう関係者へのニーズ確認など実施した
- 総務・経理業務を確実に実施し、事務局業務の円滑な遂行に寄与した

## IV. 事業報告の附属明細書

明細書に記載すべき事項は特になし